

せんべえ



mikatuki98

「オレは野牛十兵衛の子孫、野牛百兵衛だ！」

「そしてオレはその子供、野牛千兵衛だ！」

「イマドキの軟弱者めが！ この野牛親子が鍛えてやる！ 覚悟いたせ！」

「何だと！？ のうしのクセに、このイケメンライダーを軟弱者扱いするとは、笑止千万！ 子供の千兵衛の技は、どうせ塩味か醤油味が相場だろう」

「何い！ オレは海苔巻きだ！ 磯の香り高い海苔に加え、更にチーズが挟まっているのだ！ 恐れ入ったか」

「ハハハ、たわけが！ わたしをイマドキ扱いしながら、チーズとは片腹痛い。それこそ軟弱者の証拠！」

「吾が息子を誹謗するとは、許せん！ この百兵衛が瞬時に片付けてくれるわ！ 覚悟いたせ！」

「それはコッチの台詞だ！ わたしのこの柔軟な麺に耐えられると思うなよ！ ムフフフ」

「イザ、勝負！」

「いざ！」

* * * * *

「父上、おみごと！」

「うむ。息子よ！ 野牛家はこれからも安泰じゃ」

「くう…… 無念じゃ！ 歯が……百兵衛め硬すぎて歯が……イケメンが歯抜けになるとは」

「息子の千兵衛はもっと硬いぞ！ フォフォフォ」

それ以後、野牛家は千兵衛に因んで米・もち米菓子を〈せんべえ〉と呼び、せんべいの本家として永代栄えたそう。

了